

2026年2月6日
大成建設株式会社

レンドリース・ジャパン株式会社のテレコム・インフラ事業の譲受に関するお知らせ

大成建設株式会社は、2025年12月1日付でレンドリース・ジャパン株式会社（以下「レンドリース・ジャパン」といいます。）が運営するテレコム・インフラ事業（以下「対象事業」といいます。）の譲受（以下「本事業譲受」といいます。）を決定し、レンドリース・ジャパンとの間で事業譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

レンドリース・ジャパンは、オーストラリアの不動産グループであるレンドリース・グループ（本社：シドニー）の日本法人です。レンドリース・グループの日本国内における活動は1988年より始まり、現在は、「不動産投資＆開発」「プロジェクト・マネジメント＆建設」「テレコム＆インフラ」の3つの事業を柱にビジネスを展開しています。

また、対象事業であるテレコム・インフラ事業については、2001年より、日本において初めて通信基地局建設にプロジェクト・マネジメントサービスを提供し、これまでに20万局以上の基地局建設に携わっているほか、行政防災無線、高速道路における各種通信設備アップグレードなどの大規模な通信工事、全国規模で展開する多様な業態の店舗におけるスマートデジタル化、高度セキュリティ装置などの追加更新工事などの幅広い分野においてプロジェクト・マネジメントサービスを提供し続けています。

本事業譲受により、当社グループは、対象事業が有する通信分野のプロジェクト・マネジメントノウハウと当社グループの経営資源を融合し、屋内外の通信インフラに関わる新たな価値やビジネス領域の開拓を進めてまいります。また、今後拡大が見込まれる社会通信インフラのデジタルインテリジェンス化に向けた、分野や業種を横断した多様なソリューション提供を通じて新たなビジネスを創出するなど、対象事業の成長を一層推進してまいります。

なお、今後、レンドリース・ジャパンは、新たに設立した100%子会社（以下「新会社」といいます。）に対し、関連会社であり、通信インフラシェアリング事業を運営するTower Pods合同会社の持分の全てを譲渡する予定です。その上で、2026年3月31日付で、合意した条件を満たした上で対象事業を吸収分割の方法により新会社に承継させ、同年4月1日付で新会社の株式の80%を当社が譲り受けることを予定しております。

また、本事業譲受による2026年3月期の当社連結業績への影響はございません。

【本事業譲受の相手先の概要】

(2026年2月6日現在)

(1) 名称	レンドリース・ジャパン株式会社
(2) 所在地	東京都港区六本木七丁目7番7号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 アンドリュー ガウチ 代表取締役社長 リー シンイー
(4) 事業内容	建設コンサルタント・労働者派遣業

(5) 資本金	40百万円
(6) 設立年月日	1996年11月29日

【新会社の概要】

(2026年4月1日予定)

(1) 名称	NeoSphere 株式会社
(2) 所在地	東京都品川区東品川二丁目2番20号 オーシャンスクエア 21階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小林 肇
(4) 事業内容	建設コンサルタント・労働者派遣業
(5) 資本金	40百万円
(6) 設立年月日	2025年12月1日

以上